Japan Geoscience Union Meeting 2015
(May 24th - 28th at Makuhari, Chiba, Japan)
©2015. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

HDS25-P12 会場:コンベンションホール 時間:5 月 27 日 18:15-19:30

InSARによる赤石山脈南部井川地区の地すべり変動の抽出
Detection the landslide deformation using InSAR analysis in the southern Japanese Alps

西口 尚希 [1*] ; 今泉 文寿 [2]
NISHIGUCHI, Takaki[1*] ; IMAIZUMI, Fumitoshi[2]

[1] 静岡大学大学院総合科学技術研究科農学専攻, [2] 静岡大学農学部環境森林科学科
[1]Graduate School, Shizuoka University, [2]Faculty of Agriculture, Shizuoka University

防災の観点において、地表変動の発生箇所を把握しておくことは重要である。干渉SARは一度に広域の地表変動をcmオーダーで観測することができ、活動状態にある地すべりの検出に有効である。本研究ではALOS-PALSARが取得したデータを用いて地すべり変動を抽出し、その有効性を検証することを目的とした。
静岡市北部の井川地区は大井川の上流部に位置し、中央構造線及び糸魚川-静岡構造線に挟まれた地域であるため地質が脆弱である。また比高の大きい急傾斜地が分布し、降水量（約3100mm/年）が多いことから、これまでに多くの地すべりが発生している。
本研究では井川地区を対象にInSAR解析を行い、解析結果を地すべり地形分布図と比較することにより、活動状態の可能性がある地すべり変動の抽出を行った。解析の結果、地すべりによる変動と思われる箇所を複数箇所抽出した。これらの箇所について現地調査を行った結果、道路擁壁の亀裂などを確認した。また、北行および南行の両軌道で変動を観測できた箇所に関しては2.5次元解析を行った。

キーワード: 地すべり, 干渉SAR
Keywords: landslide, InSAR